

# ガザからの報告

第一部 ある家族の25年 第二部 民衆とハマス



2025年 3月20日 (休・木)

13時30分～18時00分

文京区民センター 3A会議室

(地下鉄 春日駅 2分・後樂園駅 5分)

### ■プログラム

13:30～13:40 この映画について

13:40～15:40 『ガザからの報告』

第一部 ある家族の25年 上映 (120分)

15:40～15:50 休憩

15:50～17:15 第二部 民衆とハマス 上映 (85分)

17:20～18:00 トークシェア

■参加費：一般 1000円 若者 無料

(会場でお支払いください。予約不要で、どなたでも参加できます。)



### 【作品の解説】『ガザからの報告』

#### 第1部「ある家族の25年」(120分)

故郷を追われ、ガザ最大の難民キャンプ「ジャバリヤ」で暮らすエルアクラ家。

職につけず、結婚もままならない息子たち。家族と共に故郷へ戻れる日を待ち続けている父。イスラエル軍の撤退、解放、パレスチナ自治政府の誕生——。「和平」ムードに人々が歓喜する一方で、父は「これは本当の和平ではない」と怒り、故郷への帰還を諦めて家の増築を始める。

パレスチナ初の選挙が行われ、インフラが整備されたガザで、エルアクラ家の息子たちは仕事と家庭を持ち、新たな生活を送っていた。しかし自治政府の独裁・強権政治と腐敗が深刻化し……。

#### 第2部「民衆とハマス」(85分)

イスラエル国家を認めず、全パレスチナの解放、難民の帰還を掲げるハマス。

彼らは貧困に苦しむ家庭への食料配布や孤児の救済、女性の職業訓練、医療支援といった慈善事業と、パレスチナ解放をめざす武装闘争の両面で民衆の支持を拡げてきた。2006年の選挙と、翌年の内戦の勝利によってハマスがガザ地区を実効支配するようになると、イスラエルは封鎖政策を強化。さらにはハマスの悪政も重なり、人びとはかつてない貧困に喘ぐことになる。

そして今回のガザ攻撃を受けた現地からの報告を元に、インフラも人間も、すべてが破壊されてしまった現在のガザの厳しい現状を伝える。

2024年制作/110分/土井敏邦監督作品/ドキュメンタリー映画  
(映画『ガザからの報告』公式ホームページより)

### 【なぜ今、『ガザからの報告』なのか——土井敏邦】

遠い国の人たちに起こっていることを伝えるとき、まず伝え手がやるべきことは、現地の人々が私たちと同じ人間であることを視聴者、読者に伝えることだと私は考えている。

現在ガザで起こっている事態も、ニュースが伝える「死者4万人、負傷者約8万人」という数字に、私たちは現場の実態を「分かった」つもりになる。しかし一人ひとりが私たちと“同じ人間”であることを思い当たったとき、あの空爆や砲撃で死傷した子どもたちの姿に「もし、あの子が自分たちの息子だったら、孫だったら」と想像できる。その時、「死者4万人」という数字は、私たちと同じ人間の一人ひとりの“死の痛み”“悲しみ”の4万倍なのだ、と言う認識が変わるかもしれない。そういう伝え方をすることで、遠いガザで起こっている事態を、日本にで暮らす私たちに“引き寄せられる”ことができるのではないかと。

私がやるべきことはそのための“素材”を提供することではないか。そのためには、『等身大・固有名詞の人間の姿・日常生活』を、きちんと描かなければならない。それに最も有効な方法が『住み込み取材』だった。

(映画パンフレット「なぜ今、『ガザからの報告』なのか」より)

### 憲法を考える映画の会

〒185-0024 東京都国分寺市泉町3-5-6-303

mail: hanasaki33@me.com

TEL:042-406-0502 <http://kenpou-eiga.com/>

# 憲法を考える映画の会 (関連上映会) これまでの上映作品 (2013年4月~2025年1月)

	第1回 2013年4月06日 戦争をしない国 日本		第21回 2015年10月25日 首相官邸の前で		第45回 2018年9月23日 スペシャリスト 自衛官の戦線奮闘記		第61回 2021年8月08日 荒野に希望の灯をともし
	第2回 2013年5月19日 八十七歳の青春 市川房枝生涯を語る		第22回 2015年11月28日 ハーツ・アンド・マインズ ベトナム戦争の真実		第46回 2018年11月03日 OKINAWA1965		自主制作映画見本市 #6 2021年9月26日 外国人収容所の闇/若者が代不起立/ 終わりの見えぬ闘い/ 間に消されてるものか
	第3回 2013年6月15日 映画 日本国憲法		第23回 2016年1月31日 白バラの祈り ソフィー・ショル、最後の日々		第47回 2018年12月08日 南京！南京！		第62回 2021年11月21日 子どもたちの昭和史
	第4回 2013年7月06日 日本国憲法誕生		第24回 2016年3月26日 グラニート 独裁者を追い詰める		第48回 2019年1月27日 わたしの描きたいこと		自主制作映画見本市 #7 2021年12月26日 原典の町を追われて/ハーレー市民がつくる町 高線と生きる/ 作兵衛さんと日本を撮る/いのちの海
	第5回 2013年8月10日 日本の青空		第25回 憲法映画祭 2016年5月01日 映画 日本国憲法/ありふれたファシズム/ ショック・ドクトリン		第49回 2019年3月02日 天から落ちてきた男		第63回 2022年2月06日 観劇
	第6回 2013年9月14日 ペアテの贈りもの		第26回 2016年6月26日 ザ・思いやり		第50回 憲法映画祭 2019年4月26日~28日 あの日の声を探して/天皇の名のもとに/ 証言 侵略戦争/陸軍前飛行場/ 沖縄スバド隊/ありふれたファシズム/ ショックドクトリン/ ベトナムから遠く離れて/共犯者たち		自主制作映画見本市 #8 2022年3月13日 傍聴者あるいは偶然のテロリスト/ 海辺の彼女たち/ウィシユマ・サンダマリ/ オキュバジャンティ/ メトロレインブルース
	第7回 2013年11月02日 ショック・ドクトリン		第27回 2016年7月24日 ハトは泣いている 時代(とき)の肖像		第51回 2019年4月30日 死んだら泣かない/私の描きたいこと ハトは泣いている/隠された爪跡/ OKINAWA1975/ 知事抹殺の真実/フクシマ2011		第64回 憲法映画祭 2022年4月23日・24日 グレタひとりぼっちの挑戦/ちむぐりさ/ 私たちの生まれた島/若きハルサーたちの眼/ ハーレー市民がつくる町/日本鬼子/ 映画日本国憲法/コスタリカの奇跡
	第8回 2013年11月30日 レーン・宮沢事件		第28回 2016年9月17日 焼け跡から生まれた憲法草案		第51回 2019年6月30日 沖縄から叫ぶ 戦争の時代 宮古島からのSOS		第8回 憲法を考えるちいさな映画会 2022年6月25日 ヒトラー VS チャップリン 終わらぬ闘い チャップリンの独裁者
	第9回 2014年1月18日 ニッポンの嘘 報道写真家 福島菊次郎90歳		第29回 2016年10月15日 NO (ノー)		第7回 憲法を考えるちいさな映画会 2019年7月14日 言わねばならないこと 遅すぎた聖断		第65回 2022年8月13日 TOMORROW 明日
	第10回 2014年2月08日・3月01日 "私"を生きる		第30回 2016年11月03日 わたしの自由について SEALDs 2015		第52回 2019年8月10日 ピカドン ひろしま		自主制作映画見本市 #9 2022年9月18日 2887/ワタシタチハニングンタ1/ 葫蘆島道送/岸辺の代
	第11回 2014年4月12日 9条を抱きしめて		第6回 ちいさな映画会 2016年12月10日 抗い ARAGAI 横浜事件を生きて		自主制作映画見本市 #2 2019年9月23日 「在日」/証言 中国人強制連行/ レーン・宮沢事件/ファルージャ/ シロウト/生きるのに理由はあるの		第66回 2022年10月23日 教育と愛国
	第12回 2014年5月24日 死んだら泣かない 益永スミコ86歳		第31回 2017年1月29日 横浜事件を生きて 横浜事件 半世紀の問い		特別講演会 2019年10月22日 「現代天皇制の心の支配」山田朗先生 遅すぎた聖断		第67回 2022年12月25日 日本原 牛と人の大地
	第1回 ちいさな映画会 2014年6月21日 ラブ沖縄		第32回 2017年2月25日 小林多喜二		第53回 2019年10月26日 ニジノキセキ		第68回 2023年2月12日 テロリストは誰?
	第13回 2014年7月19日 ファルージャ イラク戦争 日本人入籍事件...そして		第33回 2017年3月26日 武器なき闘い		特別上映会 2019年11月03日 靖国・地霊・天皇 遠征を抱えて PART 2		第69回 憲法映画祭 2023年4月29日30日 はだしのゲン/対馬丸/うしろの正面だあれ/ 少女アニーと運命の旅/ ジョニーは戦場へ行った/沖縄うりずんの雨/ 教育と愛国/ある戦争
	第2回 ちいさな映画会 2014年8月17日 僕たちは見た 沈黙を破る		第34回 憲法映画祭 2017 2017年4月29・30日 意志の勝利/白バラの祈り/夜と霧/ 顔のないヒトラーたち/戦争をしない国 日本/ 大東亜戦争/天皇と軍隊		第54回 2019年12月08日 主権帰		第70回 2023年7月16日 ドキュメント石垣島/ 沖縄、再び戦場へ(仮) スピンオフ作品
	第14回 2014年9月21日 ありふれたファシズム 野獣たちのバラード		第35回 2017年5月27日 知事抹殺の真実		自主制作映画見本市 #3 2020年1月13日 陸軍前飛行場/靖国・地霊・天皇 憲法を武器として/9条を抱きしめて 裁判所前/男/選挙が生まれる		第71回 2023年8月6日 広島・長崎における原子爆弾の影響
	第3回 ちいさな映画会 2014年10月4日 遠報辺野古の闘い 2014年8月 アルマジロ		第36回 2017年7月01日 テロリストは誰?		第55回 2020年2月11日 アフガニスタン 用水路が運ぶ恵みと平和		第72回 2023年10月21日 鶴形 こころの軌跡
	第15回 2014年11月22日 ANPO あの熱かった時代の「抵抗」のアート		第37回 2017年8月27日 戦ふ兵隊 日本の悲劇		第56回 2020年9月21日 沖縄と本土 一緒に闘う ヤジと民主主義		第73回 2023年12月23日 流血の記録 砂川
	第4回 ちいさな映画会 2015年2月1日 スペシャリスト わが青春に悔なし		第38回 2017年10月14日 隠された爪跡 払い下げられた朝鮮人		自主制作映画見本市 #4 2020年9月26日 ヒロシマナガサキ最後の二重爆撃 私たちは忘れない/二つの故郷を生きる 棘/人らしく生きよう/ 生きるのに理由はあるの		第74回 2024年2月3日 サイレント・フォールアウト
	第16回 2015年3月14日 証言 侵略戦争 証言 中国人強制連行		第39回 2017年12月10日 ジョン・ラーベ 南京のシンドラー		第57回 2020年11月03日 地の塩		第75回 憲法映画祭2024 2024年4月29日 ヤジと民主主義/してはら 荒野に希望の灯をともし/戦争のつくりかた/ ミサイル基地がやってきた 島で生きる/ サイレント・フォールアウト
	第17回 2015年4月25日 イラク 戦場からの告発 ジャーハダ イラク爆撃の闘い シリア内戦 イスラム国の正体を暴く		第40回 2018年1月27日 憲法を武器として 憲法事件 50年目の真実		特別上映会 2020年11月23日 人らしく生きよう 国鉄冬物語		第76回 2024年6月29日 アトミック・カフェ
	第18回 2015年6月13日 井上ひさし 九条を語る 加藤周一 九条を語る 女性達にとっての日本国憲法		第41回 2018年2月25日 ザ・思いやりパート2 希望と行動		自主制作映画見本市 #5 2021年2月23日 天皇の名のもとに/グラニート ザ・思いやり/チェルノブイリハート		第77回 2024年8月11日 生きていてよかった/千鶴
	第19回 2015年7月18日 東京裁判		第42回 憲法映画祭 2018年4月29・30日 すべての政府はウソをつく/ニッポンの嘘 東京裁判/NO/ハトは泣いている トランプのアメリカ		第58回 2021年3月27日 言わねばならないこと ショック・ドクトリン		第78回 2024年10月14日 琉球弧を戦場にすするな
	第5回 ちいさな映画会 2015年8月23日 弁護士布施辰治 天皇の名のもとに		第43回 2018年6月3日・30日 500年 権力者を裁くのは誰か グラニート 独裁者を追い詰める		第59回 憲法映画祭2021 2021年4月17日 戦争のつくりかた/戦争をしない国日本 シャドー・ディール/ 1987. ある闘いの真実		第79回 2025年1月12日 映画 〇月〇日、区長になる女。
	第20回 2015年9月13日 誰も知らない基地のこと		第44回 2018年8月25日 「在日」		第60回 2021年6月06日 ハワイレーン沖海戦 ドキュメント 真珠湾攻撃 ミッドウェイ海戦		

●毎回の「映画の会の案内」をご希望の方は、表面のMailアドレスまで、その旨、お知らせください。